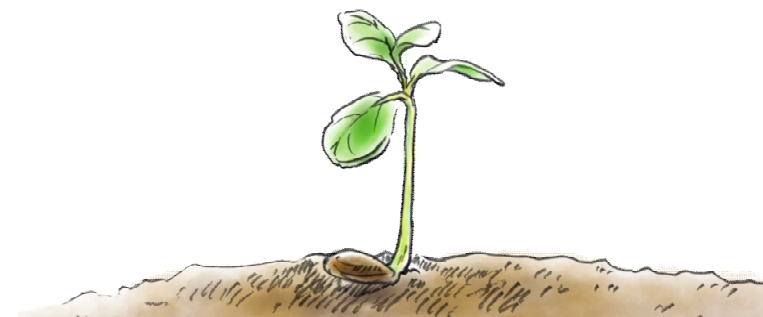


藤岡市まちづくりビジョン

～ 未来に向けて新しい種を蒔く ～





藤岡市まちづくりビジョンについて

「藤岡市まちづくりビジョン」は、10年・20年先の都市環境を創造するまちづくりの指針とするために、令和元年度に策定されました。令和2年度に新型コロナウイルスの流行とこれに伴う生活、社会の変化を踏まえた目標改訂が行われましたが、その後も、自治体DX加速化の要請、不安定な世界情勢を背景とした物価高等をはじめとして、地方公共団体を取り巻く環境は変化し続けています。

本市においては、近年に大型事業として実施してきた複合施設建設、新火葬場建設について、施設供用開始が目前に迫るなど、行政における主要事業の構築にも大きな転換点が想定される中、今後は、更にまちづくりを推進するための施策の確立と実行が必要です。

こうしたことから、本市を取り巻く環境の変化を踏まえるとともに、これまでに実施してきた事業の進行と成果を基礎とした施策を構築していくため、まちづくりの指針である「藤岡市まちづくりビジョン」の改訂を行います。あらためて現在の転換点から10年・20年後を見据え、一人ひとりの市民に寄り添いながら、明るく元気な藤岡の実現に向けた「未来に向けて新しい種を蒔く」ための取組を実行します。

まちづくりには、地域が有している強みを最大限に活かすことが重要です。また、手厚い福祉医療・子育て支援、特色ある教育活動、企業誘致や農地の集積化等の各産業分野に対する取組など、これまで行政が進めてきた事業の成果を踏まえ、更なる施策を展開していくことも欠かせません。更には、将来にわたって「地域コミュニティの維持・強化」が

図られることを前提として、人と人の絆がつながり、市民と行政が協働し、藤岡市全体の「地域力」が結集する中で、まちづくりに取り組んでいく必要があります。

あらためて、今般改訂する「藤岡市まちづくりビジョン」において、まちづくりの基礎となる本市の2つの大きな特長と基本的な理念である次の3点を掲げます。

本市の特長	全国有数の高速自動車交通の拠点性
本市の特長	地域の6割を占める森林など、豊かな自然
基本的理念	地域コミュニティの維持・強化

これらを受け、今と未来に藤岡市で暮らす人々の生活基盤を構築すること、活かしていくべき本市の2つの特長、すべての取組の基礎となる「地域コミュニティの維持・強化」という4つの観点を、引き続き「藤岡市まちづくりビジョン」の基本目標として掲げます。

- 1 住環境整備による住みよさが持続するまちづくり
- 2 高速交通・拠点性を活かした産業発展のまちづくり
- 3 豊かな自然資源を活かした環境共生のまちづくり
- 4 地域を支える人と絆を育むまちづくり

令和7年9月

安全で
快適な
暮らし

地域ので
明るく
元気に

地域コミュニティの
維持・強化

拠点性を
活かす

美しい
自然を
受け継ぐ



1 住環境整備による住みよさが持続するまちづくり

① 健康・福祉の増進、地域医療体制の充実

・健康寿命延伸に向けた健康増進事業や高齢者・障がい者などの支援の推進、市民相互の支え合いの促進により、誰もが安心して自分らしく生きていけるまちを目指します。

・2つの公立病院の経営強化を図るとともに、民間医療機関との連携促進により地域医療体制を確保し、将来にわたり市民の命と健康を守るまちを目指します。



② 防災・減災対策、交通安全・防犯の推進

・防災機能の整備を推進するとともに、自助・共助・公助の連携強化による地域防災力の向上を図り、災害に対して強くしなやかなまちを目指します。

・警察など関連機関との連携強化のもと、交通安全対策や巧妙化する犯罪への対応を積極的に実行することで、すべての市民が安全で安心できるまちを目指します。



③ 公共インフラ・公共交通の整備

・人口動態等の社会情勢を踏まえて、公共インフラの整備、更新を計画的・効率的に進め、将来にわたり安全で快適な生活基盤が整えられたまちを目指します。

・市民の自立した日常生活を確保するため、地域の実情に応じた公共交通の活性化・再生を図り、誰もが安心して移動できる暮らしやすいまちを目指します。



まちづくりのキーワード

- ・市民の健康意識向上
- ・障がい者の自立及び社会参加
- ・障がい者の就労支援
- ・高齢者の在宅生活の支援
- ・高齢者の居場所づくり
- ・医療従事者の確保
- ・地域の医療需要に合わせた病院経営
- ・個別避難計画の策定推進
- ・空き家・空き地対策
- ・市民の防犯意識の醸成
- ・高度経済成長期に整備されたインフラの更新
- ・公共インフラの老朽化対策（計画的更新）
- ・公共交通空白地域の解消

実績

- 带状疱疹ワクチン予防接種の実施
- 成年後見支援センターの設置
- 消防団員出動報酬の創設
- 除草直営対応体制の整備
- 神流川からの安定水利権の取得

現在進行中

- 健康寿命全国1位を目指すための取組の推進（アクティブシニア運動塾・ノルディックウォーキング）
- 障がい者雇用の推進
- 図書館を核とした複合施設の整備
- 新火葬場の整備
- 地域の実情に沿った交通体系の構築の検討

実現するために

- 特定健診受診率の向上を目指す取組
- 道路新設改良整備（124号、111号、2272号など）
- 中央浄水場の整備（安定した水の供給）
- 下水道施設の整備（国道17号横断、JR高崎線軌道下横断など）





2 高速交通・拠点性を活かした産業発展のまちづくり

① 産業基盤の整備、企業誘致の推進

・全国でもトップクラスの高速自動車交通の拠点性を最大限に活かし、未来の産業用地を確保するための取組を推進し、人々が集い・交流する全国一の産業交流拠点を目指します。

・民間事業者からの積極的な投資を促進するため、本市の特長を活かした企業誘致を推進し、地域雇用創出を図ることはもとより、将来にわたり発展し続けるまちを目指します。



② 地域産業・地域経済の活性化

・市内経済団体等との連携を強化し、事業者の安定経営と事業継続への支援を推進することで、地域に根ざした産業が継続的に発展できるまちを目指します。

・地域商工業の活性化のため、起業希望者のサポート、新事業進出、事業継承支援を推進し、未来に向けた新しい活力が生まれるまちを目指します。



③ 観光施設の整備、誘客・PRの強化

・ららん藤岡、ふじの咲く丘、土と火の里公園、桜山公園など、本市固有の観光資源の整備を推進し、年間を通じて何度も訪れたくなる観光の魅力を有するまちを目指します。

・観光資源間を周遊するルート構築による滞在型観光の促進と、観光プロモーションの強化による知名度向上、積極的な誘客により、にぎわいと活気にあふれたまちを目指します。



まちづくりのキーワード

- ・幹線道路整備
- ・企業の投資スピードへの対応
- ・経営革新に取り組む中小企業に対する支援
- ・空き店舗の活用
- ・空き店舗予備群の把握
- ・中小企業の後継者不在
- ・販路開拓等に係る支援
- ・中心商店街活性化
- ・観光施設の高付加価値化
- ・SNSを活用した観光地・観光資源の情報発信
- ・まち・ひと・環境にやさしい観光開発

実績

- 藤岡インターチェンジ西産業団地の整備
- 藤岡北部工業団地（第2期）の整備
- 東平井工業団地（第2期）の整備
- 北部環状線の開通（市道118号）
- 桜山公園内にシェアカフェの開設、樹上遊具の設置

現在進行中

- 新たな工業団地の整備（西部工業団地（第3期）、藤岡インター西産業団地（第2期））（令和7年12月市街化区域編入）
- 各重要路線及び新規幹線道路の整備（インター北口線・森本郷線など）
- 企業誘致推進事業（PR動画作成など）
- 土と火の里公園のリニューアル

実現するために

- 藤岡インターチェンジ周辺の開発
- 市道103号の道路舗装の長寿命化
- インター西産業団地造成を見据えた立区域内配水管の洗浄
- ららん藤岡のリニューアル
- 桜山公園の整備（バリアフリー化）



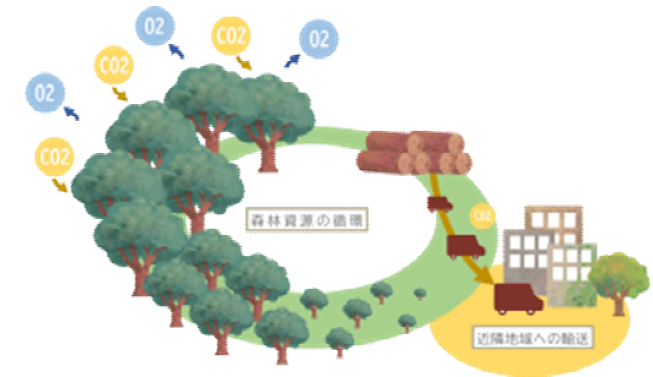


3 豊かな自然資源を活かした環境共生のまちづくり

① 森林の保全・育成・活用

・森林が有する多面的機能が持続的に発揮されるよう、適切な森林管理を促進し、美しい森林を「守り」、「育み」、「活かす」営みが将来にわたり循環していくまちを目指します。

・森林資源の利活用を促進し、林業の活性化と担い手の育成を通じて、将来にわたり林業が健全に継続していく、自然と共生するまちを目指します。



② 農業の振興、担い手の確保・育成

・農産物のブランド価値・付加価値の向上を図るとともに、新たな農業手法導入の支援、農地の集積化によって生産性の向上を図り、力強い農業が営まれるまちを目指します。

・新規就農者支援や事業者とのマッチング、本市農業の魅力発信の推進により、農業の未来を拓く担い手の確保を図り、生産人口が維持向上するまちを目指します。



③ 自然・環境の保護・保全

・山々、清流、田園など、本市が有する自然の豊かさを享受する市民一人ひとりが未来の世代に責任を持ち、より豊かで美しい環境を継承していくまちを目指します。

・再生可能エネルギー導入促進による脱炭素化などの気候変動対策、ごみの減量化やリサイクル促進の取組により、地域全体で環境にやさしい循環型社会を目指します。



まちづくりのキーワード

- ・境界確定、意向調査の加速化
- ・森林整備の効率化
- ・森林整備の高度化
- ・森林資源の循環利用と公益的機能の強化
- ・林業従事者の処遇改善
- ・地域産材の消費拡大
- ・農業の多面的機能の発揮
- ・スマート農業（IoT化）
- ・経営継承・発展等支援、新法人設立支援、世代交代支援
- ・エネルギー自給率向上
- ・ゼロカーボンシティ
- ・ふじおか5つのゼロ宣言
- ・環境教育・環境学習の推進

実績

- 市独自の有害鳥獣捕獲奨励金の上乗せ
- いちごPRキャラクター「やよいひめさん」の誕生
- ほ場整備による農地の集約化
- ふじおか5つのゼロ宣言

現在進行中

- 森林地形・森林資源解析事業
- 市有林整備の推進
- 農園団地整備事業
- 公共施設LED化推進事業

実現するために

- 林業作業道・林道橋の整備
- 民間施設の木質化改修費の補助制度の創設
- 清掃センター基幹的設備改良に向けた長寿命化計画の策定



4 地域を支える人と絆を育むまちづくり

① 地域づくり・市民活動支援、歴史・文化の継承

・地域づくりセンター事業による市民の絆を育む活動の推進や、生涯学習・スポーツの充実などにより、市民の笑顔と生きがいにあふれたまちを目指します。

・地域について学ぶ場の提供、伝統文化の継承活動の支援や、本市固有の文化財の保護と活用を推進し、先人が培った歴史と文化を大切にするまちを目指します。



② 出産・子育て支援の充実、藤岡教育の推進

・「ふじまる」を拠点とした出産から子育てまで切れ目のない支援体制を充実することで、子育て世代の負担軽減を図り、誰もが出産・子育てがしやすいまちを目指します。

・コミュニティ・スクールを基盤とする小中一貫教育など、特色のある「藤岡教育」の充実を図り、子どもたちが未来に向かって大きく羽ばたいてける「郷土」を目指します。



③ 地方創生の推進、藤岡ブランドの向上・発信

・高速自動車交通の拠点性と豊かな自然という本市の特長を活かすことで、安心して働き、暮らせる生活環境を創り出し、人と人が交流する楽しいまちを目指します。

・市民とともに地域資源を更に磨き上げるとともに、本市の魅力を再発見して内外に積極的に発信することで、郷土愛とシビックプライドにあふれた藤岡市を目指します。



まちづくりのキーワード

- ・持続可能な地域コミュニティの形成
- ・部活動の地域展開
- ・学校給食費完全無償化
- ・高山社学
- ・地域の魅力継承
- ・地域行事への参加促進
- ・ふじまる、みかぼみらい館の連携による相互補完
- ・こどもの育ちを支える環境の構築
- ・交流人口、関係人口、定住人口の増加
- ・官民連携の推進（民間人材の活用）
- ・ふるさとサポーター制度
- ・地域情報発信（SNS）
- ・人口ビジョンに基づく施策の推進

実績

- 地域コミュニティ維持・強化の策定、各地区公民館を地域づくりセンターへ移行
- 学校給食費完全無償化・福祉医療費（子ども福祉医療費）高校生世代までの拡充
- 小中一貫教育・コミュニティスクールの全校実施
- 通学路等の危険箇所を解消する子ども安全対策事業

現在進行中

- 地域づくりセンターを拠点とし、市民団体や住民と連携した事業の推進
- 世界文化遺産「高山社跡」の整備
- 複合施設における産後ケア事業、一時預かり・プレイルーム運営
- 民間人材を活用したデジタル化の推進

実現するために

- 文化施設等の改修（総合学習センター、庚申山、総合運動公園、烏川サッカー場など）
- 地域の子育て支援の強化（保育体制強化、保育補助者雇上強化、乳児等通園支援など）
- 小中学校の体育館に空調設備を整備
- 特別支援教育の充実



自治体 DX の推進と持続可能な行財政運営の実現

・人に優しく便利で暮らしやすいまちを実現するため、デジタル技術の活用による市民の利便性向上や業務の効率化などの DX を推進していきます。

・市民の夢や未来を支援し、将来に希望が持てるまちを創るため、安定的かつ継続的に質の高い市民サービスを提供する行財政運営を実行していきます。





藤岡市まちづくりビジョン

～ 未来に向けて新しい種を蒔く ～